

●
平成20年度 文部科学省委託事業
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

フリーター・ニート・主婦のための 再チャレンジ支援講座

報 告 書



学校法人 行吉学園
KOBE WOMEN'S UNIVERSITY
神戸女子大学
神戸女子短期大学



神戸女子大学
神戸女子短期大学

目 次

1. はじめに	2
2. プログラムの概要	2
3. 平成20年度の活動	3
4. 受講生の募集	5
5. 開 講 式	6
6. 教育プログラムの概要	7
7. 修 了 式	10
8. 修了者の活動状況	12
9. 地域団体、組織との連携	14
10. 受講生アンケート	14
11. 今後の課題	36
12. 参考資料	37
おわりに	52

1. はじめに

神戸女子大学
神戸女子短期大学
学長 波田重熙

平成19年度文部科学省の新規事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択され、本学の持つキャリア教育のノウハウを生かし、地域の諸団体やキャリアアドバイザー等の方々と連携して始めたこの「フリーター・ニート・主婦のための再チャレンジ支援講座」は、本年度も順調に運営されたことをまず喜びたいと思います。

本年度は本講座を3回実施し、定員120名に対し343名の応募を受け付け、119人の受講者に対し115名に修了証を発行させていただきました。

本講座は、子育てが一段落した主婦、学生時代に就職活動をせずにフリーター・ニートとなっている女性、母子家庭で経済的に自立したい女性の再チャレンジを支援することを目的としてきましたが、本学の企画にこれほど多くの方が関心を示されたことは、女性の再チャレンジに対するニーズが非常に高いことを物語っております。

現在の大学は、研究と教育に加えて、社会貢献がその責務とされており、本学もこれまで学生を対象に行ってきましたキャリア教育を、この講座を通して、社会人の皆様に役立てることができたことは、大変意義深いと考えております。

この講座は、本学だけでなく、神戸市・西宮市・芦屋市の男女共同参画センター、NPO法人である生きがいごとサポートセンター神戸東・神戸西等団体や地域のキャリアアドバイザーの方々が運営や講義に協力していただいておりますので、大学と地域の共同事業であります。大学や地域がそれぞれのノウハウを持ち寄り、その相乗効果を地域に還元することは大変意義深く、本講座がその証になることを願ってやみません。

本報告書は、今年度の活動を記録するとともに、活動内容を分析し、来年度にむけての課題・新規施策の検討材料として活用してゆきたいと考えております。

2. プログラムの概要

この講座では、女性の方々にフリーターやニートといわれる方々ならびに主婦を対象とした。そして、一般職への再チャレンジに必要な知識・技能を身につけていただくべく、キャリア教育

ならびにパソコン技能をプログラムの中心に据えて講座を設定した。

キャリア教育においては、フリーター等の方々には学生時代、学校でのキャリア教育に関心が薄かったと予想されることから、現在大学が持つキャリア教育のノウハウを生かしたプログラムを準備することにした。さらに、子育て等により家庭に入った主婦の再チャレンジを支援することを目的に、必要な知識・技能を身につけるためのプログラムを用意した。

キャリア教育において必要なことは、自らのキャリア（人生の行路）を自分でデザインする力をつけることである。それには企業が求める求人像を理解した上で、自己分析を通して自分の長所を再発見し、発見した長所を履歴書と職務経歴書に表現し、面接でしっかりと表現できる力をつけることがポイントとなる。そこで、「キャリアデザインの必要性と企業の求める求人像」「自己分析」「履歴書の書き方」「模擬面接」という就職活動に必要な講義と、「女性の知っておきたい労務知識」「ビジネスマナー」「接遇訓練」という再チャレンジ希望者に必要な知識・訓練を授業として用意した。

情報社会において、パソコンを仕事に使うことは日常茶飯事である。再チャレンジを考えているモデルの主婦として、大学卒業後5年間は仕事に就き、その後結婚退社して、二人目の子どもが小学校4年生であると仮定すると年齢は44歳前後と考えられる。この時期、企業においては事務の仕事はワープロ専用機が全盛であり、現在のようにすべての仕事をパソコンでこなす時代ではなかった。そのため、これらの主婦が事務職として再就職するためには、パソコン操作技術が一番の障壁となっている。その障壁を乗り越えるために、ワードやエクセル、そしてインターネットの基本操作を身につけることをパソコン技能の中心に据えて授業を用意した。

このように、本講座ではキャリア教育とパソコン活用教育を組み合わせることによって、再チャレンジに必要な知識、技術を習得し、自信を持って社会に参画することができる女性の育成を目指した。

平成20年度は、第2期、第3期、第4期と3回の講座を開催し、同一プログラムで多くの女性のニーズに応えることができた。

3. 平成20年度の活動

この事業の目的は、学生時代に就職活動にあまり積極的に取り組まず、職に就くことができなかった方々や、90年代から2000年代前半にかけて就職氷河期の影響で就職できずに、ニートやフリーターと呼ばれ、不安定な生活を余儀なくされている方々、また、子育て期を終え再就職を考えている主婦や経済的な理由で就職を考えている女性を対象に就職支援のための知識・技能の習得を目指すものである。

これらの方々に通ずる課題は、情報社会の形成、我が国のグローバル化とともに急速に変化する社会環境、労働環境、職場環境にどのように適応すべきか、その知識、技術をどのように身につけるかにある。

この講座では、上に述べた課題に応えるために、職場環境や労働環境の変化を知るための女性のための労務知識、自らの位置を知るための自己分析やそれを効果的に表現する履歴書の書き方、特に重要な現代的コミュニケーションのあり方、他者との関わりを学ぶ接遇訓練や面接時の表現、そして、仕事に欠かすことができないコンピュータスキルをカリキュラムの中心においている。

受講者の募集において応募は積極的であり、平成20年度に実施した3回ともすべての期において40名定員を満たすことができた。(途中、個人的に事情でやめる方はいたが) このことは、このような、再チャレンジのための支援講座を多くの方々が切望されていることを示しており、100年に1度という経済危機の中、再就職のためのセーフティーネットとしても大いに役立っていることが感じられた。

受講生の応募状況ならびに修了状況を以下にまとめる。

■ 平成20年度 受講生募集状況および修了状況

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
募集期間	4月10日～28日	9月1日～18日	12月1日～18日
応募者数	182名	94名	67名
開講期間	5月19日～7月14日	10月6日～12月15日	1月14日～3月23日
受講者数	40名	39名	40名
修了者数	40名	38名	37名

平成20年度、第2期の講座として4月10日(木)～28日(月)まで受講生を募集し、182名の応募者があった。そのうち40名を選抜し、5月19日(月)～7月14日(月)まで第2期の講座を実施した。第2期の講座では、40名全員が修了することができた。修了式は7月14日(月)開催された。

第3期講座は、9月1日(月)～9月18日(木)まで、受講生を募集し94名の応募者があった。そのうち40名を選出し、10月6日(月)～12月15日(月)まで講座が開かれた。12月15日(月)の修了式では38名の受講生が修了証を受け取った。

第4期講座は、12月1日(月)～12月18日(木)まで受講生募集が行われ、67名の応募者があった。そのうち、選出された40名の方々が、1月14日(水)～3月16日(月)の間、講座を受講し、

3月23日（月）の修了式では、37名の受講生が修了証を受け取った。

なお、第2期からは、募集の対象者として経済的に困難を伴う母子家庭の方々を加えたため、申告による授業料免除制度を導入した。この制度を利用して講座を受講した方々は、第2期2名、第4期1名の合計3名であった。

平成20年度は、19年度の講座において、毎回の授業で最後に行っているアンケート調査の分析結果を基に、講義内容の順序整備を行うとともに、第3期講座以降修了時に総合的なアンケート調査を実施し、講座全体の課題、修了後の受講生の課題の分析を実施することにした。

また、本学が実施している「再チャレンジ講座」の内容を充実させることを目的に、本学同様「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された昭和女子大学、広島修道大学に訪問調査を実施した。両校の実践から受講者への修了後のケア充実の必要性をくみ取ることができた。

4. 受講生の募集

本講座受講生募集にあたっては、地域の新聞社・提携諸団体・キャリアアドバイザーの皆様およびこの講座を修了された修了者のご協力、ご支援をいただき広報にあたった。その結果、平成20年度に実施した3回の講座とも定員を大きく上回る応募があった。

第2期の募集は4月10日（木）から4月28日（月）にかけて実施した。第2期においては、新しくホームページを開設するとともに、3月21日（金）付けで神戸新聞に特集記事を掲載した。また、提携団体である「生きがいしごとサポートセンター神戸東・神戸西」の協力で、同会員向けにパンフレットを郵送していただいた。また、第1期の応募において選に漏れた91人名全員に募集要項を送付した。加えて、第1期修了者36名、運営委員、講師に募集要項を送付し、募集広報のお願いをした。

第3期の募集は9月1日（月）から9月18日（木）にかけて実施した。ホームページに募集要項を掲載するとともに、公立図書館・各区市民センター等に募集要項を置かせていただいた。また、第2期の募集で選に漏れた141名全員に募集要項を送付するとともに、第1期修了者36名、第2期修了者40名、運営委員、講師に募集要項を送付し、募集広報をお願いした。

第4期の募集は12月1日（月）から12月18日（木）にかけて実施した。ホームページに募集要項を掲載するとともに、公立図書館・各区市民センター等に募集要項を置かせていただいた。また、提携団体である「生きがいしごとサポートセンター神戸東・神戸西」の協力で、同会員向けにパンフレットを郵送していただいた。加えて、第3期の募集で選に漏れた27名全員に募集要項

を送付するとともに、第1期修了者36名、第2期修了者40名、第3期修了者38名、運営委員、講師に募集要項を送付し、募集広報をお願いした。

各期における募集要項の具体的な配布先、配布部数については別掲資料に示した。

5. 開講式

開講式は、神戸女子大学三宮教育センターにおいて、学長、本プログラム運営委員長の出席のもとに開催された。式では、受講生の呼名、学長の挨拶そして本講座について具体的な学習についての説明が行われ、式修了後、受講者による自己紹介の場を設けて、講座に出席した思い等を語ってもらった。

第4期講座学長挨拶

第4期再チャレンジ支援講座が盛況に開催されることをお祝い申し上げます。

ここに集まれた40名の皆様は、再チャレンジ支援講座の第4期生です。この講座は、文部科学省が平成19年の新規事業として取り組んだ「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の採択事業となっております。

大学が持っているキャリア教育のノウハウを活用し、地域の方々と連携してフリーター・ニートといわれる若者や子育てが一段落して社会人として再チャレンジを志す主婦等を支援するこの講座は、これまで、多くの方々のご支援を受けて、大きく育ってまいりました。

第3回までの総応募者数は407名、総受講者数は119名で、114名の方が、修了証を受け取って巣立って行かれました。

この講座は再就職をしたいが、そのノウハウに不安があると考えておられる皆様が応募をされていますが、新しい自分探しに踏み出そうという強い志をもった皆様が集まっておられる場でもあると思います。新しいことにチャレンジすると必ず予期しなかったことに遭遇しますが、それを乗り越える時に、この初心が大切です。

昨年後半から世界的な規模で景気後退が進行している時期でのチャレンジには厳しい環境と一般には考えられていますが、国民生活が続き、企業が活動している国内の中小企業の市場では、求人ニーズは引き続き出てまいります。

この講座は製造業の技術職や総合職を求める方を育てることを目標としているのではなく、地

場産業や中小企業の一般事務やNPO法人での事務等に再チャレンジをしたい人を主に支援する講座ですので、ここで学ばれた成果を強い意思をもって再チャレンジに生かしていただければ、その成果はついてくると考えております。

これから寒さもさらに厳しくなり、皆様だけでなく子供・おじいさんおばあさんを含めた家族の方々の健康が、皆様が勉強に励まれる前提にもなりますので、皆様とご家族のご健勝を祈念し、式辞とさせていただきます。

6 . 教育プログラムの概要

この講座のプログラムは「キャリア教育」と「パソコン技術」の2本柱からなっている。各授業は90分を単位として、キャリア教育を18回、パソコン技術は15回、合計33回実施された。

具体的な、授業概要を次に示す。

「キャリアデザインの必要性と企業の求める求人像」・・・90分×1

【講師】 キャリアアドバイザー 亀治中 吉男

【概要】 企業が求める求人像の変遷と、現在の企業が求める求人像のモデルとしての「社会人基礎力」を理解し、再チャレンジの前提には、自分の人生の行路（キャリア）をデザインする力をつけることが必要であることを学ぶ。

「自己分析」・・・90分×2

【講師】 キャリアアドバイザー 亀治中 吉男

【概要】 自己が描いたキャリアデザインを実現するためには、自らの長所をPR する必要がある。自分の長所を再発見するために、自己分析表を受講生自身が作成し、作成例から望ましい長所のまとめ方を学ぶ。

「履歴書の書き方」・・・90分×2

【講師】 キャリアアドバイザー 亀治中 吉男

【概要】 本講座用に開発した履歴書モデルを使い、履歴書の基本的な記入方法を理解するとともに、自己分析した自らの長所を履歴書にまとめることを実習する。さらに、職務経歴書の作成要領について学ぶ。

「女性の知っておきたい労務知識」・・・90分×3

【講師】 社会保険労務士 宮田 ミチヨ

【概要】 労働法（特にパートタイム労働法）について、パートタイマーと正社員の違い、休暇の取得権利、労災保険や社会保険の適用を受ける権利等を詳しく解説する。また、セクシャルハラスメントへの対応方法や個人情報that不当に使われた時の対応についても学ぶ。

「ビジネスマナー」・・・90分×2

【講師】 神戸女子短期大学教授 中川 伸子

【概要】 社会人として知っておくべきマナー、オフィスワークでの常識を学ぶ。ビジネスマナーⅠでは、文書の知識と実務、ビジネスの慶弔等を中心に学び、ビジネスマナーⅡでは、タイムマネジメント、電話の対応や指示の受け方・報告の仕方等、職場でのコミュニケーションについて学ぶ。

「接遇訓練」・・・90分×2

【講師】 キャリアアドバイザー 田中 啓子

【概要】 身だしなみ、言葉遣い、陳謝の言葉遣い等の接遇の基本、鏡等を使った表情トレーニングや原則的なメイクの方法を学び、仕事をする上で良好な人間関係をつくるために必要な技法を実技を交えて学ぶ。

「就職施設の活用法」・・・90分×1

【講師】 キャリアアドバイザー 亀治中 吉男

【概要】 ハローワーク、インターネット、就職情報誌等を利用して求人情報を集めるときに留意すべきことや、正社員以外の就職先として、利用目的に沿って派遣労働やNPO 法人への就職があることを学ぶ。

「模擬面接」・・・90分×5

【講師】 神戸女子大学キャリアサポートセンター課長 足立 勝己
神戸女子短期大学キャリアサポートセンター課長 津山 充代
キャリアアドバイザー 亀治中 吉男
キャリアアドバイザー 広野 史子
キャリアアドバイザー 宮田 ミチヨ
キャリアアドバイザー 関本 幸恵
キャリアアドバイザー 継本 智月
キャリアアドバイザー 橋本 恭子

【概要】 1人のアドバイザーとの個人面接を2回、アドバイザー全員で1人の受講者に対して個人面接を1回実施する。個人面接では、提出された履歴書と職務経歴書をもとに、最初の面接では対応上の問題点をアドバイザーが指摘し、次回、それがどのように改善されたかをチェック・指導を行う。アドバイザー全員による面接では、入場時の挨拶から、着席姿勢、視線や声量等立ち振る舞い、退場時の挨拶まで複数アドバイザーの目を通して学ぶ。

「パソコン技能」・・・90分×15

【講師】 情報技術学院講師 酒井 誠

【概要】 事務職として必要なパソコン技術の習得のため、受講者それぞれがパソコンに向かい、ビジネス文章の作成やデータ処理に必要なワード、表計算（エクセル）などビジネスソフトの基礎的な技能を実習を通して学ぶ。また、情報収集で利用されるホームページを使っての情報検索等に必要なインターネットの使用法等実習する。

7. 修了式

本講座を修了するための条件として、全講座（90分×33）のうち75%（90分×25）以上の出席、学習とした。この条件を満たした受講生には、本講座の修了証を発行し授与している。

各期修了式は全講座の終了をもって、神戸女子大学三宮教育センターにおいて、開催された。

- I. 修了式開会の辞
- II. 修了証授与
- III. 学長挨拶
- IV. 受講生代表挨拶
- V. 閉会の辞



修了証

第3期講座 波田重熙学長挨拶

再チャレンジ支援講座第3期生の皆さん。本日は修了おめでとうございます。

神戸女子大学及び神戸女子短期大学は文部科学省の「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の認定事業としての委託を受けて、この「再チャレンジ支援講座」を実施してまいりました。

大学の持っているキャリア教育をベースにして、地域の方々と協力し、「子育てが一段落した主婦」・「定職についていないフリーターと呼ばれる女性」・「経済的な理由で定職につくために就職スキルを身につけたい母子家庭の方々」に、再チャレンジに必要な知識と技能を提供するこの講座が、38名という多くの修了者を出すことができましたのも、受講者の皆様がそれぞれの講座に真摯に向かい合い、再チャレンジして新しい自分作りに挑戦しようという強い志をもって本講座に臨んでいただいたからではないかと推察しております。

皆様の再チャレンジしようという志を実現するには、本日の修了がスタートでもあります。

「自己分析」「ビジネスマナー」「女性の知っておきたい労務知識」「接遇訓連」「パソコン実技」とここで学ばれた知識と技能を生かして頑張っていたいただきたいと思います。

昨今の経済環境は世界的に厳しい時代に入ってきました。皆様の再チャレンジの志を温かく迎えてくれる環境であるとはいえませんが、何度も何度も門をたたき、挑戦する気持ちをもっていただきたいと思います。

もし、活動の中で分からないことができたり、再チャレンジに迷いができましたら、いつでも事務局と相談してください。

皆様の、今後のご健勝をお祈りして、修了のお祝いといたします。

■ 第3期講座 松井昌子受講生代表

平成20年もあと半月を残す年の瀬となりました。本日は、私どものために、かくも心温まる修了式を挙げていただきありがとうございました。

この講座には94名の方の応募があった中で、私どもを選んでいただいたと伺っております。

私は、あと少しで50歳を迎えます。これまで、結婚、出産、子育て、介護と経験していく事で家庭環境が変わって行き、そのつど働き続ける事が出来ませんでした。現在、一段落したので、女性としてもう一度仕事に携わり、新しい自分を作りたいと願っていました。

しかし、それを実現するための必要なスキルがなく、公的職業訓練等の講習を受けようと申し込んでも年齢を理由に断られ、困っていた時に、当講座に出会いました。

就職するために、自己分析をして自分の長所や適性を振り返り、そこで見つけた自分を企業の求人像に照らし履歴書や職務経歴書にあらわし、その自分を面接官にしっかりとPRする模擬面接までの一連の「キャリア教育」、「接遇訓練」、「女性として知っておきたい労務知識」の講義と実技、さらにエクセル・ワード・インターネットの活用法等15回に及ぶパソコンの実技と本当に盛りだくさんでそれぞれ内容のある講座を実施していただき感謝にたえません。

本日ここに38名の同期生が巣立ってまいります。ここで学ばせていただいた知識や技能を礎として明日より新しい自分作りに歩み始めたいと思います。

世界的な金融不安、アメリカ自動車産業ビッグスリーの経営危機に影を落としている経済状況での就職は厳しいと思われます。しかし、再チャレンジしようという初心を忘れず頑張る所存です。

主婦・母子家庭・定職を持っていなかった女性と、私どもはそれぞれ異なった環境を持ち、事務・教職・営業など進む道も異なりますが、ここで「再チャレンジ支援講座第3期生」として共に学んだ経験を共有する仲間として、今後も励ましあい、助けあって行ければと考えております。

最後になりましたが、講義・面接等でお世話になりました諸先生方と、手厚い配慮をしていただきました事務局の方々に、改めて御礼を申し上げるとともに、神戸女子大学・神戸女子短期大学の更なる発展をお祈りし、第3期生を代表して答辞とさせていただきます。

8. 修了者の活動状況

本講座の目的は、フリーターやニートといわれる方々ならびに主婦を対象とした女性のための再チャレンジを支援することであり、その成果は受講生の修了後の再チャレンジ度にあると言えることができる。

そのため、成果を知るためには、受講生が修了後どのような活動に取り組んでいるか、追跡調査を行うことが重要である。調査は、修了後一定の期間（概ね3ヶ月）において、書面によるアンケート調査ならびに電話による聞き取りを実施している。

修了者活動状況

（平成21年3月31日現在）

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
就職決定	23	12	調査は7月を予定
活動中	6	10	
資格取得	1	3	
時期待ち	7	9	
中断	2	1	
不明	1	3	
合計	40	38	—

本講座の主たる目標として、修了後全員が再チャレンジ活動を開始することにあったが、数字をみるかぎり、約30%近くの修了生が、時期待ち、中断という状況にある。

この理由として、アンケートからは、主婦の方々は、子どもの関係でPTAの役員に選出されたり、子どもの塾の送り迎え等、子どもの教育に関係することや、祖父母の介護ですぐには活動できない等があげられている。

就職状況

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
正社員	4	2	調査は7月を予定
常勤社員	2	1	
パート等	12	9	
派遣	5	0	
その他	-	-	
合計	23	12	-

講座を修了され、就職された方々の就職状況を示したのが上の表である。この表から分かるように、パート・派遣社員が多く、正社員・常勤社員の就職は少ない。

本講座では、再チャレンジに向かって必要と思われる基礎的な事柄を学習内容としている。そのため、企業が、正社員等に求める知識・技術水準に達することはむずかしく、そのために、正社員等が少ない原因とも考えられる。また、主婦層においては、扶養家族を離れることがむずかしく(年収が一定以上になると扶養家族を離れる)、将来は正社員を目指すが、再チャレンジスタート時は、パートや派遣で仕事をやりたいと考える方が多かった。修了時のアンケートで、パソコン技能が、企業ですぐ使える水準までに至っていないと考える者が多く、再チャレンジに向かってパソコン技術の向上を望む声が多かった。そのことも、修了後の活動に関係しているように推察される。

第2期修了生と第3期修了生を比較すると、第3期修了生では、派遣はゼロである。リーマンショックからの世界的金融危機や米自動車産業危機に端を発した急激な景気後退等で、日本経済も秋以降、景気が急激に落ち込んだため、いわゆる派遣斬りが発生し、派遣市場が急速に縮小したことが、その要因であるとも考えられる。

受講者平均年齢が40～44歳である事を考えると、これらの方々はコミュニケーション能力もあり、その事を利用して大企業の事務職だけでなく、中小企業やその他団体等に広く職を求める事も考えられる。

今後は、これらの企業への再チャレンジを勧めるとともに、提携先である生きがいごとサポートセンター等を通して、NPO法人等のコミュニティービジネス分野の就職情報等を提供しその活用を薦めることも重要である。

加えて、修了生への情報提供システム、再チャレンジを効果的に行うためのネットワークづくりを考えて行く必要がある。

9. 地域団体、組織との連携

本プロジェクトは、当初から大学の持つキャリア教育を核とし、地域の団体や個人の皆様と連携して進めることでスタートが切られた。その連携は、プロジェクトの進行とともに拡大を見せている。

平成20年度の活動を始めるにあたり、運営委員会の強化を図ることにした。そこで、4月より、運営委員として、芦屋市男女共同参画センターの野々垣奈々子氏とマナースクール コム・ル・シエルの継本智月氏に加わっていただいた。芦屋市男女共同参画センターは、平成19年4月に芦屋市女性センターを改組してスタートした組織であり、本プロジェクト提案作成当初より関心をもって見守っていただいていた。平成19年度の活動を振り返る中で、平成20年度を期に運営に直接参加していただいた。マナースクール コム・ル・シエルの継本智月氏も提案検討時より関心を持っていただいていた。そこで、平成20年度より運営委員および模擬面接講師として直接受講者の指導に参加していただいた。

広く一般市民に本プロジェクトを知っていただくことは、再チャレンジ社会を構築する上において重要であり、その意味で広報活動は大きな意味を持っている。第3期の募集からは、神戸市母子家庭等就業・自立支援センターならびに兵庫区役所保険福祉部（兵庫福祉事務所）が、母子家庭への広報のために、募集要綱を事務所内に置いていただけることとなった。また、第3期より、神戸、西宮、芦屋の各公立図書館に、主婦等への広報のために募集要項を置いていただくことができるようになり、広報活動が地域の協力により一段と拡大することになった。

第2期より、神戸女子大学キャリアサポートセンター課長足立勝己氏が、第4期からキャリアアドバイザー橋本恭子氏が模擬面接の担当者として授業に加わり、講師陣の層が厚くなった。

10. 受講生アンケート

受講生へのアンケートとしては、講座期間中の授業内容・授業方法の改善を目的に、講義修了後に意見を求めるものと、第3期以降は、講座修了にあたって講座全体を見わたして意見を得るためのアンケートを実施した。

各授業終了時に行ったアンケート調査の結果は、後日担当講師にフィードバックし、次回以降の講義の参考にさせていただいた。

なお、講師からは、「受講生の水準に大きな幅があり、どのレベルに照準を定めるか難しいところがある、そのため、講義内容として平均より少し上の程度に水準を定めざるを得ない。全員

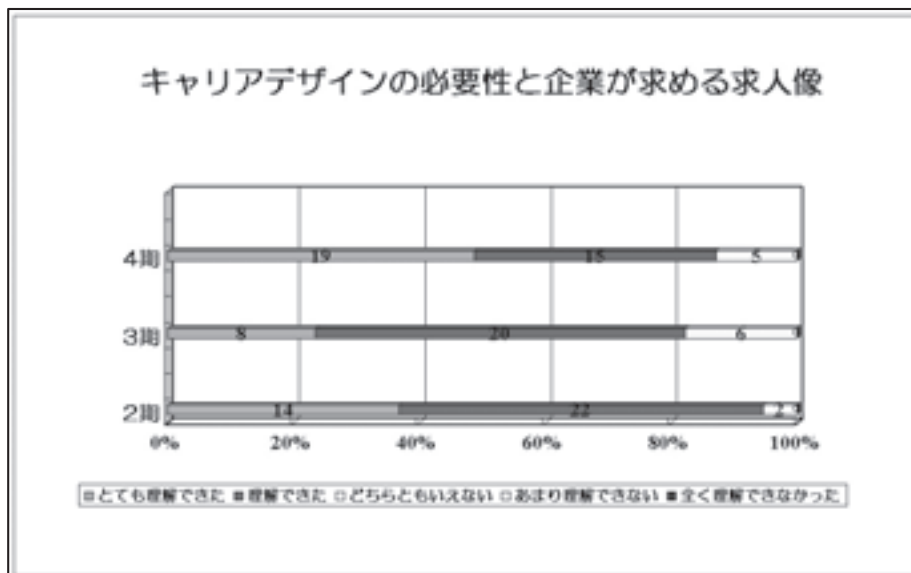
に満足してもらえらる講義を実現することは大変難しい」との感想が多く出されている。

それぞれの講義に対する受講者の満足度には概ね高い評価が得られている。

それぞれの授業についてのアンケート

次に、それぞれの講義の第2期～第4期までのアンケート結果を示す。アンケート内容は、大きく分けると講義の内容、授業の進め方、そして講師についてである。なお、グラフは「内容についての理解」を示したものである。

キャリアデザインの必要性と企業の求める求人像



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	14	8	19
	理解できた	22	20	15
	どちらともいえない	2	6	5
	あまり理解できない	0	0	0
	全く理解できなかった	0	0	0
進め方について	わかりやすい	34	33	37
	早くて理解できない	3	0	0
	説明がくどすぎる	0	1	1
講師について	わかりやすい	24	26	29
	普通	11	8	9
	わかりにくい	0	0	0

自由記述から

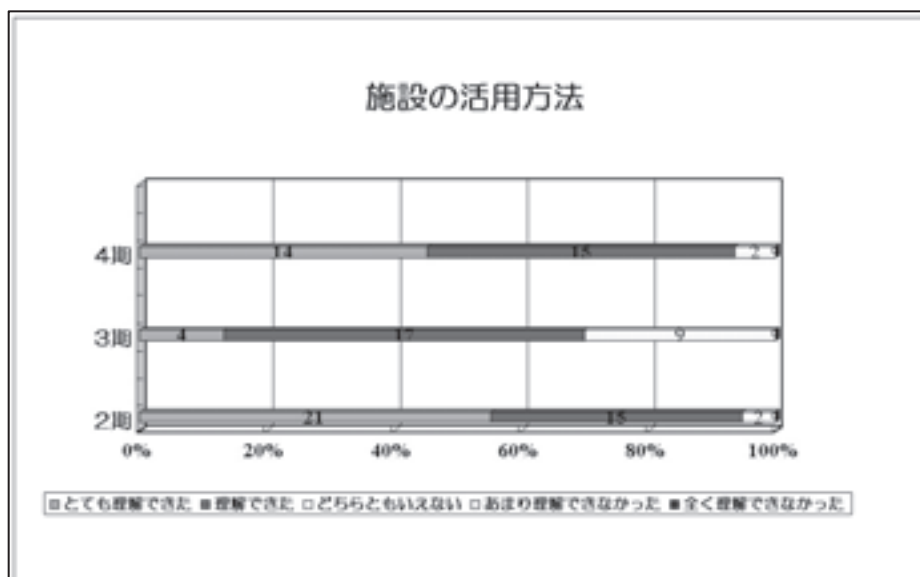
【良かった点】

- ◇2 期 *「企業の求める求人像」について具体的に知ることが出来た。
*志望理由の書き方が重要だとわかった。
*「社会人基礎力」を知っておくことで、自分をPRする時役立つと思った。
- ◇3 期 *自分を考えるきっかけになり、自分自身を分析することの大切さを知った。
*企業の求める求人像を把握し、上手に自己アピールできるような考え方がわかった。
*時代の流れや企業のニーズ、就業状況などを知ることができた。
- ◇4 期 *紹介予定派遣や、NPO法人への就職など、新しい働き方がわかった。
*社会人基礎力の具体的なお話がよかった。
*企業の求める求人像の変遷がよくわかった。
*どういう順序で就職活動を進めていけばよいかわかった。

【問題点・改善点・要望など】

- ◇2 期 *各分野の求人傾向を具体的に取上げて欲しい。
*パートタイマーに求められていることも知りたい。
- ◇3 期 *セルフコントロール
*同年代の人の働き方
*受講修了者の就職状況
*社会の厳しさやスピード、就業覚悟について
- ◇4 期 *派遣について、もっとくわしく知りたい。
*具体例をもっとあげてほしい。
*いろいろな職種の紹介（向き、不向きもあわせて）

施設の活用方法



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	21	4	14
	理解できた	15	17	15
	どちらともいえない	2	9	2
	あまり理解できない	0	0	0
	全く理解できなかった	0	0	0
進め方について	わかりやすい	35	26	28
	早くて理解できない	2	3	1
	説明がくどすぎる	1	1	1
講師について	わかりやすい	28	14	23
	普通	9	14	8
	わかりにくい	0	0	0

自由記述から

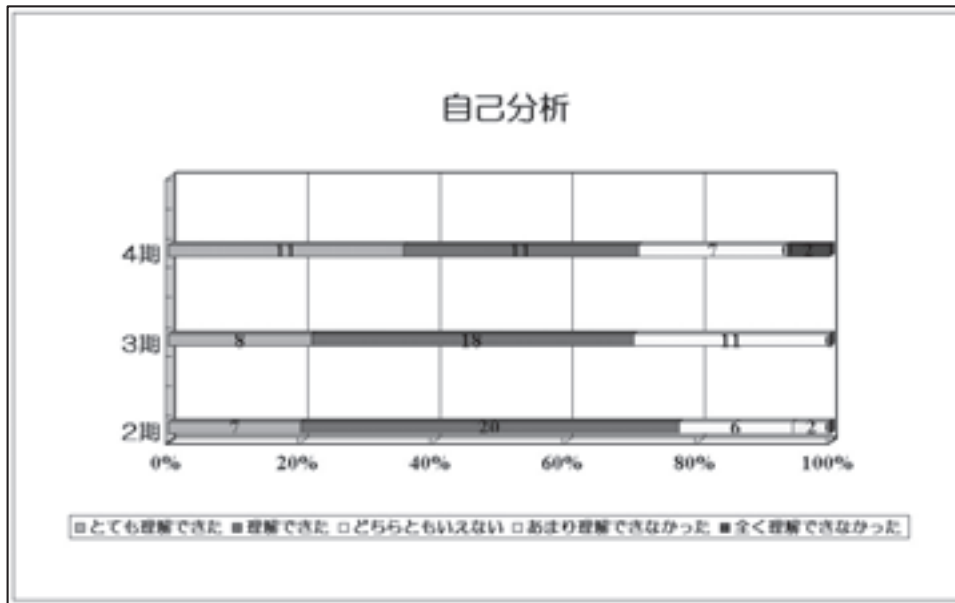
【良かった点】

- ◇2 期 *今まで知らなかった職業紹介施設や情報誌を知ることができた。
*NPO法人について調べてみたい。
*マザーズハローワークを利用したい。
- ◇3 期 *今まで知らなかった(ハローワーク以外の)施設の紹介がしてもらえてよかった。
*今までよくわからなかったハローワークの利用方法がわかってよかった。
- ◇4 期 *派遣会社の方から直接話を聞いてよかった。
*ハローワーク以外にも求人があることがわかってよかった。

【問題点・改善点・要望など】

- ◇2 期 *よくない企業とはどのようなものなのか。
*在宅ワーク、派遣会社についても取り上げて欲しい。
*企業の求めるパソコンスキルはどのようなものなのか。
- ◇3 期 *パソコンの技能についての検定や、資格試験の種類について。
*本講座修了後、形として残る、レベル的に取得可能な資格等はあるのか。
*修了生の現在の活動状況について知りたい。
- ◇4 期 *「履歴書の書き方」と一緒にしてもよいと思う。
*就業形態別の施設の利用の仕方を教えて欲しい。
*個々の経歴にあった就職活動ができるような話もしてほしい。

自己分析



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	7	8	11
	理解できた	20	18	11
	どちらともいえない	6	11	7
	あまり理解できなかった	2	0	0
	全く理解できなかった	0	0	2
進め方について	よかった	30	29	21
	わからない	2	6	6
	よくなかった	3	2	3
	短時間で書けない	13	11	5
	自己分析の項目と自分があわない	0	0	0
	分析する意味が理解できない	4	2	1
	その他	1	3	3
宿題について	よかった	24	17	19
	わからない	4	13	6
	よくなかった	6	7	4
	宿題とする主旨が分からない	1	0	1
	家で書く時間がとれない	3	7	2
	個別指導してもらえなかった	3	0	1
	その他	0	6	1
講師について	わかりやすい	22	17	16
	普通	12	20	14
	わかりにくい	1	0	0

自由記述から

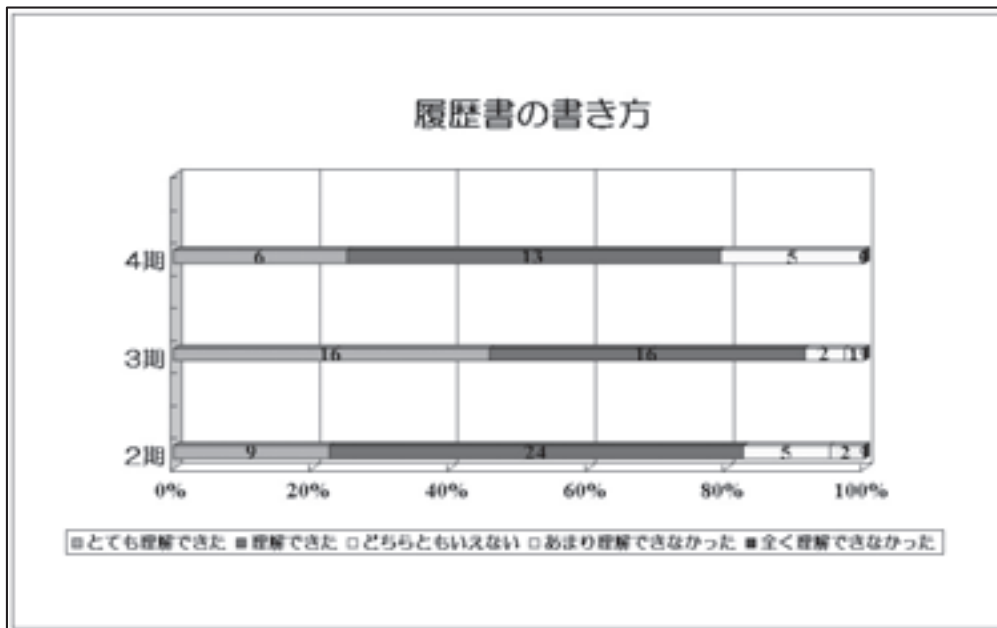
【良かった点】

- ◇2 期 *自分を振り返る時間が持ててよかった。
*就職先にとって重要であると思われるところをアピールする必要があると理解できた。
- ◇3 期 *企業にどのようにアピールするかわかった。
*長所、短所の書き方、表現方法がわかった。
*自分でよいと思っている事や長所が、企業の必要とすることと一致するとは限らないということがわかった。
- ◇4 期 *表現方法によって短所を長所に変えることが出来るということに驚いた。
*今後を活かしたい。
*企業側に評価されることと、評価されないことがわかりよかった。
*他人から見た自分と、自己意識の違いがわかった。新しい自分を見ることができた。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2 期 *受講生の例をとりあげるのは、参考になるが個人情報なので抵抗がある。
*長所、短所の良い書き方例を、先生の方で用意して欲しい。
- ◇3 期 *自己分析は難しい。
*自己分析をしたくない。自分自身を直視して文章にするのは苦手。
*短時間では書けない。
*家庭との両立についてどのような考えがあるのか、実践しているのかを知りたい。
*今の状況で、自分がどんな仕事につけるのか知りたい。
- ◇4 期 *分析する意味が理解できない。
*宿題にもっと日数が欲しい。
*自己分析するだけでなく、履歴書の書き方への指導でもあるということを、最初に説明してほしかった。
*分析シートの記入事項に重複する部分が多いように感じた。
*何度も同じようなことがらについて記入していかないと、目指す自己分析にたどりつけないのだろうか。
*説明が不十分。書き方がよくわからなかった。
*自己分析に対応した職業の紹介をしてほしい。
*各企業や職種、それぞれの求められる条件他、過去の事例があれば知りたい。
*月曜日の授業で、水曜日の宿題提出は時間的に厳しかった。

履歴書の書き方



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	9	16	6
	理解できた	24	16	13
	どちらともいえない	5	2	5
	あまり理解できなかった	2	1	0
	全く理解できなかった	0	0	0
進め方について	よかった	37	31	17
	わからない	3	3	3
	よくなかった	3	1	2
宿題について	よかった	31	26	12
	わからない	4	7	6
	よくなかった	4	2	3
講師について	わかりやすい	22	25	11
	普通	15	10	13
	わかりにくい	2	0	0

自由記述から

【良かった点】

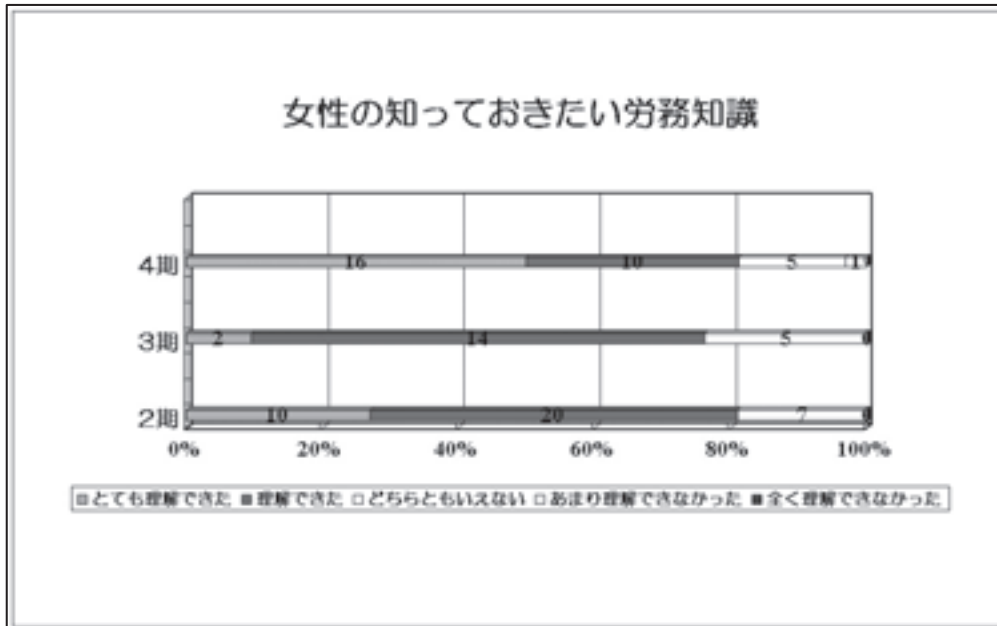
- ◇ 2 期 *例としてあげる受講生の履歴書のコピーをなしにしたことは、プライバシーへの配慮があってよかった。
- *就職においては自分の考えでなく、自分に何が出来るか、何故そうしたいのかという理由が重要であるということがわかった。

- ◇3 期
- *企業が「この人を雇いたい」と思う履歴書の書き方を知ることができた。
 - *「相手に読んでもらう履歴書」というのを書いたことがなかったので、大変役に立った。
 - *履歴書や職務経歴書では、前向きに自分をアピールすることが大切だということがわかった。
 - *丁寧に添削してもらえてよかった。
- ◇4 期
- *興味をひかれる書き方というのがわかった。
 - *前向きな要素を根底に自己PRが出来るよう、自己分析と絡めて教えてもらったのがよかった。
 - *自分をアピールできる履歴書の作成について詳しく学ぶことができた。
 - *自分の履歴書の問題点がよくわかった。
 - *具体的に、細かいところまでアドバイスが聞けてよかった。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2 期
- *職務経歴書について、説明がわかりにくい。
 - *社会経験がなくて書くことに困る。
 - *宿題について、時間がとれない。
 - *個別指導してもらえなかった。
 - *今まで力を注いだこと、自己PR、希望する条件の分け方がよくわからない。
- ◇3 期
- *一般に市販されている履歴書用紙を使って説明してほしい。
 - *授業では書ききれないので宿題にするのは良いと思うが、1回目の授業欠席者に宿題が出ている旨の連絡をしてもらえるとよかった。
 - *「今まで力を注いだこと」では、日々家族のために働いている主婦には、社会的な活動について相手を納得させられるほどの内容を持っている人は少ないと思う。
 - *再チャレンジ支援講座オリジナルの履歴書は分厚いが、提出先で規格外とされるようなことはないか。
 - *職務経歴書提出との指示がない場合でも、履歴書と一緒に出した方がよいのか。
 - *パート希望の場合でも、職務経歴書の提出は必要か。
- ◇4 期
- *「自己分析」の授業と、特に変わりはないのではないか。
 - *説明が単調で眠くなった。
 - *「今まで力を注いだこと」と「自己PR」は同じような内容になってしまうため難しい。
 - *職務経歴書の書き方についてももう少し説明が欲しい。
 - *一般の履歴書を使った書き方も教えてほしい(2)。

女性の知っておきたい労務知識



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	10	2	16
	理解できた	20	14	10
	どちらともいえない	7	5	5
	あまり理解できない	0	0	1
	全く理解できなかった	0	0	0
講師について	わかりやすい	27	10	24
	普通	11	11	8
	わかりにくい	0	0	0

自由記述から

【良かった点】

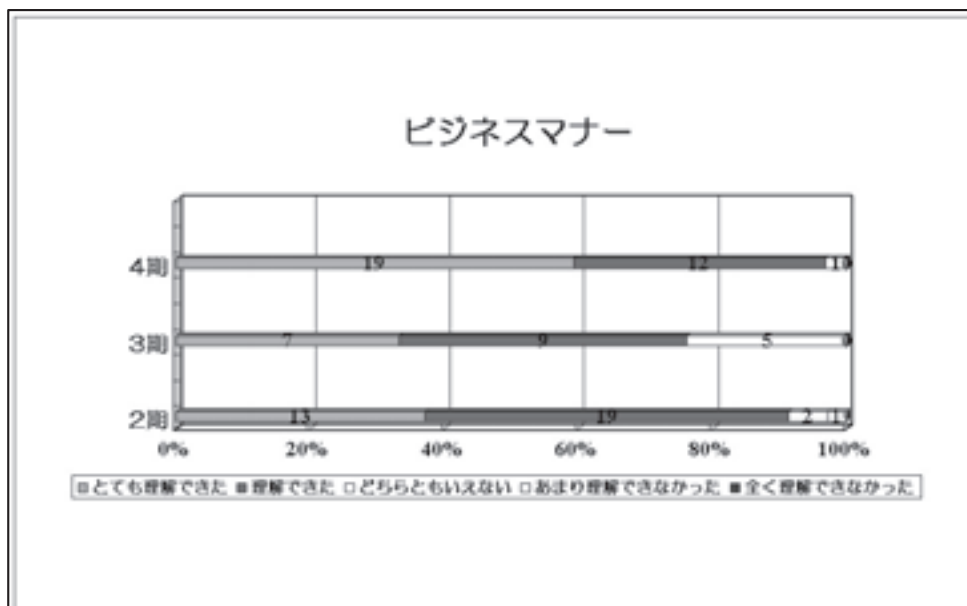
- ◇ 2 期
 - * 具体例がよかった。
 - * 知らなかった法律・税金のことを理解できた。
 - * パートタイマーも要件を満たせば、十分な保険を受けられることを知った。
 - * テキスト以外にも板書でまとめてもらうことで、内容を整理・理解しやすかった。
 - * 配布された相談窓口の一覧は役立つと思う。
 - * 就職のためだけでなく、自立する上で知っておくべきことを勉強することができた。
 - * 女性の先生が、女性の立場にたってお話してくださり、わかりやすかった。
- ◇ 3 期
 - * 具体例がわかりやすくてよかった。
 - * 生活に直接役立つ授業で、とてもよかった。
 - * 説明が詳しくてよかった。

- * 社会保険について、自分で気をつけるべき点がわかった。
- * テキストがとてもくわしく、また板書もわかりやすかった。
- ◇ 4 期 * 具体例、実例がとてもわかりやすかった。
- * 説明が詳しくてよかった。
- * 制度の変更や、新しいことの追加があり、この授業を受けられてよかった。
- * 普段の生活の中では知る機会のないことで、非常に役立つ講座だった。
- * 黒板書がわかりやすくてよかった。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇ 2 期 * もう少しゆっくりのペースがよかった。
- * 個別に先生と話し（質問）する時間が欲しかった。
- * 法律用語が難しく、すぐにぴんときないときがあった。
- * 派遣について、もっとくわしく知りたかった。
- ◇ 3 期 * ペースが速かったので、書き留めることができなかった。
- * もっと時間がたっぷりあればよかった。
- * 年金について、もっとくわしく聞きたかった。
- * 配偶者の年収と合わせて、税金面、社会保険の面からベストな働き方についてお話ししてほしい。
- ◇ 4 期 * 主婦の方中心の内容が多く、派遣等についての説明がなかった。
- * ペースが速かったので、少しわかりにくいところがあった。
- * プリントを見たり、教科書をみたり、どこをやっているのか分かりにくいところがあった。
- * もう少し時間があればよかった。

■ ビジネスマナー



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	13	7	19
	理解できた	19	9	12
	どちらともいえない	2	5	1
	あまり理解できない	1	0	0
	全く理解できなかった	0	0	0
講師について	わかりやすい	21	13	22
	普通	14	6	10
	わかりにくい	0	2	0

自由記述から

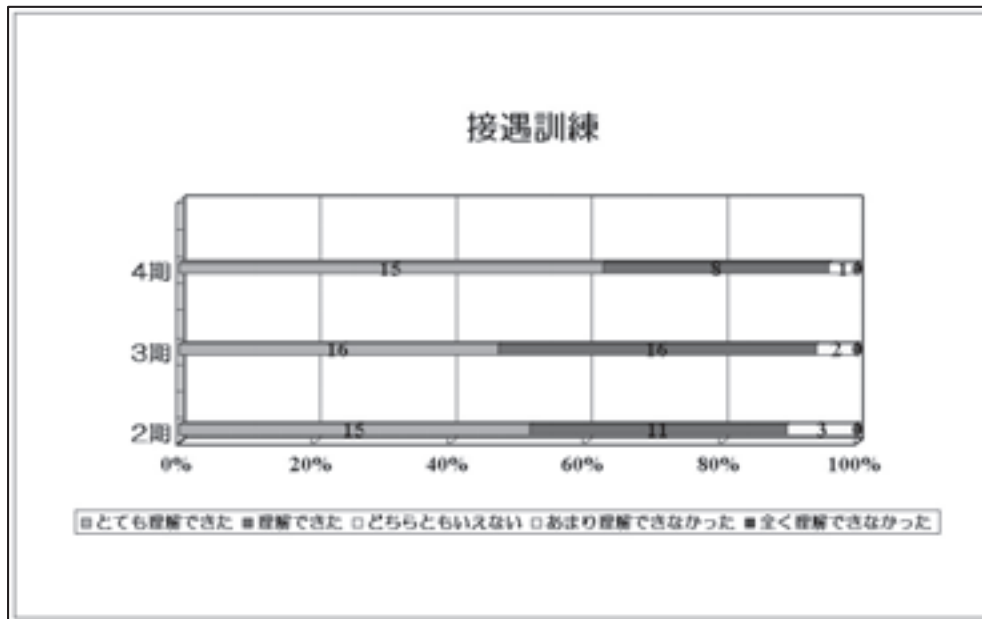
【良かった点】

- ◇2 期 * 普段の生活にも活かせる常識やマナー（電話応対・礼状など）を学べてよかった。
* ビデオ学習で理解しやすかった。
* 丁寧な言葉遣いで、よくわかった。
- ◇3 期 * ビデオがわかりやすかった。
* 実際に使うことを学べたと思う。
* 限られた時間で、たくさんのことを得られた。
* 日常生活にも使えることも多くあったし、日常生活とは違う点についてもよくわかった。
* 知らないことも多かったが、一度講義を受けたということが自信になると思う。
- ◇4 期 * ワークシートやビデオなどの活用で、理解を助ける工夫がされていてよかった。
* 電話のマナーを勉強できてよかった。
* 具体例がとてもわかりやすかった。
* 電話のマナーや礼状の書き方など、日常生活にも活かせることがたくさんあった。
* 常識だと思っけていても、なかなか実行につながらないことを痛感し、しっかりと復習したい。
* 大切なことではあるが、習う機会がなかったのでとても参考になった。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2 期 * 興味深い内容で、もっと時間をとって、ゆっくり授業を進めてほしかった。
* マナーについてもっと時間を使ってほしかった。
- ◇3 期 * 授業のペースが速く、もう少し時間をかけて教えてほしかった。
- ◇4 期 * IIでは実技演習があればよかった。
* 実際に声を出す練習も必要だと思った。

接遇訓練



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	15	16	15
	理解できた	11	16	8
	どちらともいえない	3	2	1
	あまり理解できない	0	0	0
	全く理解できなかった	0	0	0
講師について	わかりやすい	23	32	21
	普通	6	2	3
	わかりにくい	0	0	0

自由記述から

【良かった点】

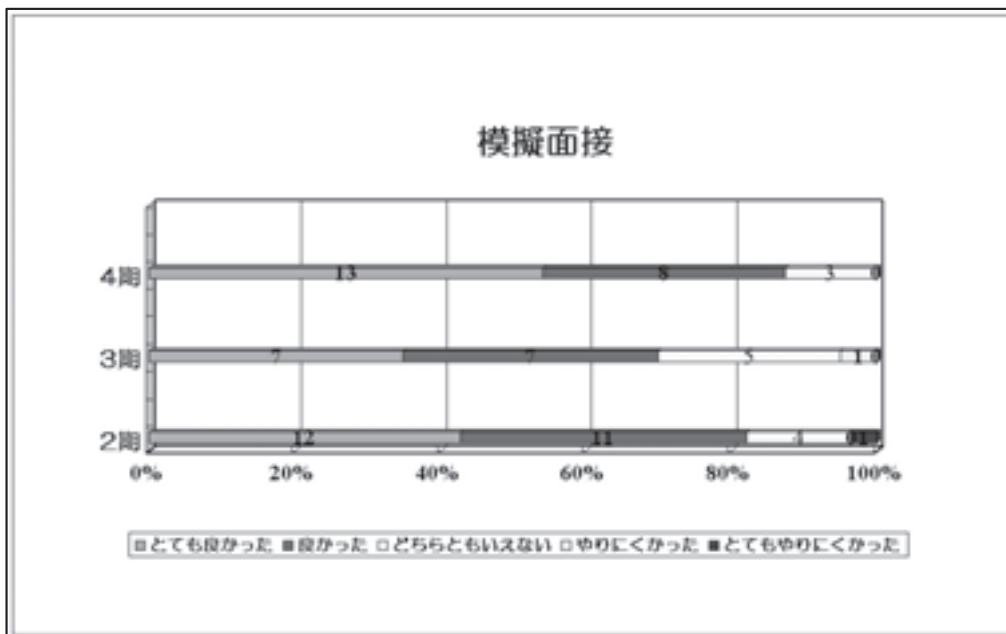
- ◇2 期 *敬語の使い方を教えてもらえてよかった。
 *お辞儀の仕方、入退室の仕方、歩き方などの実技を加えた学習が、大変わかりやすくよかった。
 *面接や会社、その他の場面でも大変役立つと思いました。
 *細かい点まで丁寧に例をあげて、大変わかりやすかった。
 *最後にまとめプリントを配ってもらえて、とてもよかった。
- ◇3 期 *歩き方、お辞儀の仕方など、声を出し身体を動かして実際にやってみることができて勉強になった。
 *あいまいだった知識を確認できてよかった。
 *就職だけでなく、日常生活においても役立つことが多く、早速実践していきたいと思う。

- * 敬語や職場用語などがよくわかった。
- * 人の心をつかむために気をつけたり、身につけたりするべきことがよくわかった。
- * 具体的な事例があり、よくわかった。
- ◇4 期 * さまざまな具体例があり、大変分かりやすかった。
- * 言葉遣い、表情の大切さがよくわかった。
- * 尊敬語、謙譲語など、普段使い慣れない言葉を確認でき、勉強になった。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2 期 * 進行が速すぎたので、もっと時間をとってほしかった、実技訓練をして欲しかった。
- ◇3 期 * もう少し時間を増やして欲しい。
- * 個別指導がして欲しかった。
- * 1回目の面接の前に、接遇訓練を受けたかった。
- ◇4 期 * 接遇訓練の応用編（書類や名刺の授受、ドアの開閉等々）の講義も受けたい。
- * 実技の時間がもっとあればよかった。
- * 面接の動作（ドアの開閉、着席の仕方など）を学習したかった。

■ 模擬面接



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても良かった	12	7	13
	良かった	11	7	8
	どちらともいえない	4	5	3
	やりにくかった	0	1	0
	とてもやりにくかった	1	0	0

		第2期	第3期	第4期
様式について	とても良かった	12	6	13
	良かった	11	6	7
	どちらともいえない	4	3	2
	やりにくかった	1	4	1
	とてもやりにくかった	0	1	1
模擬面接担当者について	とても良かった	15	10	18
	良かった	11	7	5
	どちらともいえない	2	3	1
	やりにくかった	0	0	0
	とてもやりにくかった	0	0	0

自由記述から

【良かった点】

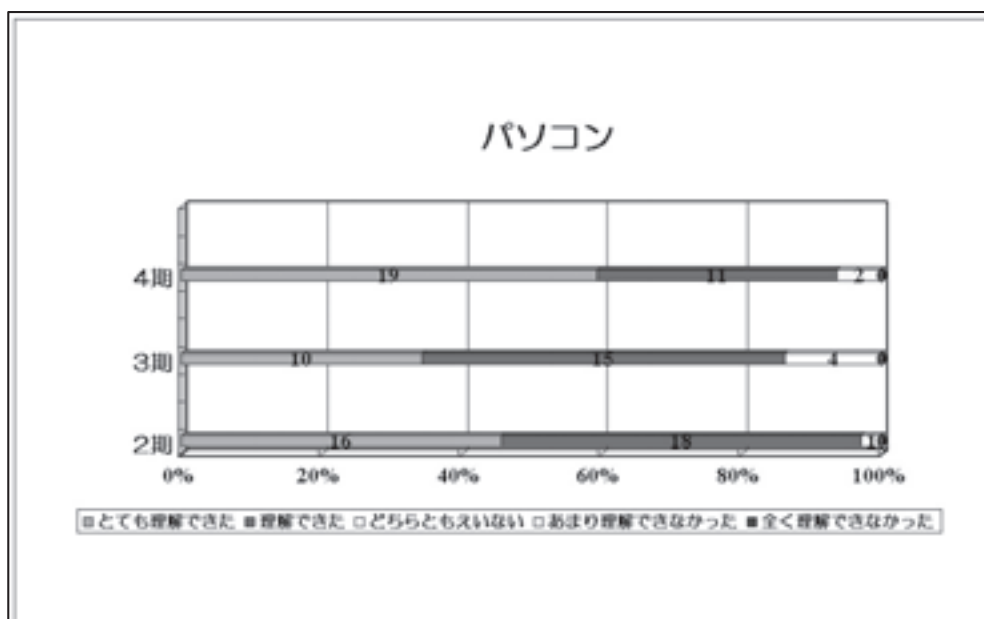
- ◇2 期 *大変緊張したが、自信がついた。今後に役立つと思う。
 *親身に対応してもらえた。
 *的確かつ具体的なアドバイスをもらえてよかった。
 *想定外の問いにどのように答えるのかを体験できたことは、大いに役立つと思った。
 *面接官が何を知りたいのか、という視点を持たせてもらえてよかった。
 *自分の考え（伝えたい事）をまとめることが出来るようになった。
 *何度も繰り返すことで、自信を得られた。
- ◇3 期 *面接Ⅲでは、他の方の様子を見ることができて良かった。
 *Ⅰでの評価、指導を経てⅡ、Ⅲと臨むことができてよかった。
 *とても緊張したが、他では出来ない経験が出てよかった。
- ◇4 期 *緊張したが、これからの面接に早速役立ち、よい経験になった。
 *同じ面接官の個人面接で丁寧に指導してもらえ、相談もできたよかった。
 *どんな質問、どんな状況でも対応できるような練習が出てよかった。
 *自信を持って話す、自分をPRすることの重要性を学んだ。
 *人の面接を見るのは（Ⅲ）勉強になった。自分でも他の人の良い点を取り入れたい。
 *入室から退室までの流れをつかむことができ、有意義だった。

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2期 *注意点をメモさせてもらえたらよかった。
 *部屋を2分割しているので、入退室がしにくかった。
 *ビデオ撮影などで、客観的に自分の面接を振り返ってみたかった。
 *Ⅱ、Ⅲで面接官が違っていれば、違った視点で指摘してもらえるのではと思った。

- *Ⅲの面接は大変厳しかった。事前に面接の形式を知らせてほしかった。
 - *Ⅲのようなスタイルの面接ではなく、すべて個別の面接でよかったのではないか。
 - *面接は2回で十分だとおもった。
 - *面接応答の模範回答集のようなものが欲しい。
 - *面接時間の大幅な変更は困る。時間内に終わって欲しかった。
- ◇3 期
- *緊張した。
 - *Ⅲの時の椅子が動くので、座りにくかった。
 - *Ⅲで、皆の前で非常に個人的な質問はやめて欲しい。
 - *服装や髪型などもチェックしてほしい。
 - *面接官によってチェックポイントが違いすぎる。
 - *パートを対象とした模擬面接もやって欲しい。(パートでは前職についてくわしく聞かれたりしない)
 - *採用と不採用を分ける重要なポイント、「この人を採用したい」と思われる点を教えてほしい。
- ◇4 期
- *他の面接官の指導も受けてみたかった。
 - *面接の設定があいまいだった。自分で特定の会社を設定できたら、より具体的に対応できたと思う。
 - *面接Ⅲは、度胸はつくが必要かどうか疑問に思う。
 - *模擬面接のまとめをプリントにしてもらえたら良いと思う。

パソコン



		第2期	第3期	第4期
内容について	とても理解できた	16	10	19
	理解できた	18	15	11
	どちらともいえない	1	4	2
	あまり理解できない	0	0	0
	全く理解できなかった	0	0	0
講師について	わかりやすい	32	26	25
	普通	3	3	7
	わかりにくい	0	0	0

自由記述から

【良かった点】

- ◇2 期 *丁寧な指導で、大変わかりやすかった。
*自己流でやっていたが、自信を持てる知識になった。
*質問しやすい雰囲気だった。
- ◇3 期 *丁寧な指導で、大変わかりやすかった。
*分かりやすいテキストで、それにそってゆっくりと学習が進むのでよかった。
*自己流で使っていたところが、はっきりとわかってよかった。
*サポートの先生に気軽に声をかけられてよかった。
- ◇4 期 *丁寧な指導で、大変わかりやすかった。
*自己流でやっていたので、大変勉強になった。
*アシスタントの先生がいてくれてよかった。
*親切に質問に答えてもらえた。

【役立つと思ったこと】

- ◇2 期 *エクセル・ワードのあわせ技
*差し込み印刷
*メールアドレスの取得
*エクセル・ワードの基本
- ◇3 期 *書類の作成
*貼り付け
*差し込み印刷
*エクセル・ワードのあわせ技
* Excel 関数
- ◇4 期 *ショートカットキーの操作
*インターネットの設定方法
*差し込み印刷
*エクセル・ワードのあわせ技

- * エクセルの計算式
- * エクセル・ワードの基本

【疑問点・改善点・要望など】

- ◇2 期
 - * 自宅（あるいは自習時間）でもできる練習問題や、課題がもらえたらよかった。
 - * 市販されているテキストで、練習に使えるものを紹介してほしい。
 - * クラスのスキルにばらつきがあるので、グループ分けしてもらえるとよかった。
 - * 欠席時の補講をお願いしたい。
 - * もう少しペースを上げて、高度な技術も教えてほしい。
 - * 最後の方、ペースが上がり、ついていくのが大変だった。
- ◇3 期
 - * インターネットの使い方よりも、ワード・エクセルの時間を増やしてほしい。
 - * この内容で就職に役立つのか不安。
 - * ワード、エクセルの基礎以前の授業が多いようで、時間ももったいないと思った。
 - * エクセルは殆ど理解出来ずに終わってしまった。
- ◇4 期
 - * 基本操作から学びたい人と、スキルアップ・資格取得を目指す人とでコースが別れていればよかった。
 - * 毎回復習問題があれば、内容の理解の確認をできてよかった。
 - * 再就職に必要なパソコン技術のテストがあればよかった。
 - * 基本が多く、もっと実践向きの講義をしてほしい。
 - * パソコンは全く初めてで、ついていくのが大変なときがあった。
 - * 授業の進み方が速く、わからないところがあった。

講座全体に関するアンケート

第3期講座以降については、受講生修了時に講座全体について総合的な意味での感想を求めるためのアンケート調査を実施している。

以下に、アンケート項目ごとに、その結果をまとめた。

1. この講座を何で知りましたか。(数字は人数)

	第3期	第4期
リビング	17	15
新聞	9	8
友人からの紹介	2	5
ハローワーク	1	—
朝日ファミリー	1	3
母子福祉センター	—	1
青少年会館	—	1
生きがいしごとサポートセンター	—	1

2. この講座に応募してみようと思ったきっかけは？(数字は人数)

◆第3期

パソコン技術を身につけたかった	14
再就職に役立つと思った	9
再就職したかった	4
再就職に不安があった	4
面接力を身につけたかった	2
以前から内容に興味があった	1
何か学びたかった	1
短大で学んだ事と内容が似ていた	1

◆第4期

再就職を考えていたが、不安があったが、この講座がプラスになると思って	17
パソコン等、就職に役立つスキルを身につけたかった	12
社会参加、新しいことへのチャレンジのきっかけになるとおもって	3
知人に勧められて	1
何か役立つことがしたかった	1

3. 役立つと思った講座、上位3講座を記入して下さい。

	第3期	第4期
1	パソコン	パソコン
2	女性のため知っておきたい労務知識 模擬面接	模擬面接
3	接遇訓練 履歴書の書き方	自己分析 女性のため知っておきたい労務知識

4. あると良いと思った講座をあげて下さい。

◆第3期

- パソコン (中級・応用)
- パソコン (レベル別)
- パソコン (個人授業)
- パソコンの時間をもっと
- 企業の行う新人研修のようなもの

修了生で再チャレンジ成功者の話
 求人情報の見方
 受講生同士の交流

◆第4期

パソコン（中級）
 パソコン（パワーポイント・アクセス）
 パソコン（レベル別）
 パソコンの時間をもっと
 ビジネスマナー（含実技）をもっとくわしく
 修了生で再チャレンジ成功者の話
 就職相談
 簿記、法律などの多少専門的な講座
 英会話
 資格取得に結びつくような講座
 自分がどのような職業に向いているか分析するような講座

5. この講座で最も身に付いたもの、成長したものはなにか記入して下さい。(数字は人数)

◆第3期

パソコン技術	13
自信・勇気・チャレンジする力	6
自分を振り返ることが出来た	3
自己表現	3
再就職に対する認識	2
面接対応力	1
履歴書の書き方	1

◆第4期

パソコン技術	13
自己分析	7
面接力	4
自己PR	3
自信、勇気、やる気、前向きな考え方	4
履歴書の書き方	1
学習するくせ	1

6. 講座の期間は適当でしたか。(数字は人数)

	第3期	第4期
長かった	1	0
ちょうどよかった	22	31
短かった	8	3
その他	0	0

「短かった」答えた方に、どれくらいが適当か答えてもらいました。

	第3期	第4期
あと2週間	1	-
あと6ヶ月	1	-
6ヶ月	3	3
週3日で2ヶ月	2	-
実質3ヶ月	2	-

その期間が適当だと思う理由

- ・パソコンの時間がもう少し必要
- ・自己分析にもっと時間が必要
- ・授業のスピードがどれも速い
- ・集中できる（週3日で2ヶ月）
- ・もっと深く教わりたかった
- ・もっといろいろ学びたい

7. 授業中大変だったこと、心配だったことについて記入して下さい。(数字は人数)

◆第3期

パソコンの授業においつくのが大変	4
宿題	3
面接の準備	2
履歴書や職務経歴書の作成	1
模擬面接	1
自己分析	1
通学が遠い	1
自分自身が体調をくずしてしまった	1

◆第4期

自己分析	3
パソコンの授業においつくのが大変	2
自分の体調管理	2
家族（子供）の体調管理	2
模擬面接Ⅲ	2
履歴書の初回提出期限が短かった	1
自宅のパソコンとバージョンが違った	1
講座期間中の引越し	1

8. この講座全体について、最初の期待にあっていましたか。（数字は人数）

	第3期	第4期
期待どおり	23	23
どちらともいえない	6	9
期待はずれ	0	0
未回答	0	2

9. その他、ご意見、ご感想を自由にお書き下さい。

◆第3期

- * 授業で書いた履歴書をその後模擬面接で使うこと、本格的な面接であることあらかじめ説明してほしかった。
- * 新しい出会いがあってよかった。
- * 講座が少し進んだところで、受講生同士の交流を深めるための機会があればよかった。

◆第4期

- * 講師の先生に勇気付けられる言葉を頂いてよかった。
- * パソコンはレベル別の方がよかったのではないか。
- * パソコンを休んだ時の補講をしてほしかった。
- * 講座受講により何らかの資格を取得できるような講座があればよかった。

■ アンケート結果から

講座全体への全般的な意見を第3期、第4期講座終了時のアンケート回答から推測してみる。

受講生の応募動機をみると、「パソコンの技術を身につけたい」や「再就職を考えていて不安があったが、この講座がプラスになると思って」等が大半を占めている。このことから、仕事に就きたい気持ちと、社会が急激に情報化され、それまでの仕事の形態に大きな変化がもたらされていることへの不安が見て取れる。特に、コンピュータへの適応が大きな課題と考える向きがある。

その意味で、パソコンの活用技術、仕事の変化を中心として学ぶ、本講座のような内容が求められているのではないかと推測できる。

「この講座を何で知りましたか」の問いに、リビング、新聞が半数以上を占めている。このことは、再就職を求めている方々が普段から、地域のミニコミ誌や新聞などから情報を収集しようとしていることが見て取れる。情報提供の媒体として、これらを活用することの有効性が分かった。

この講座を受講して身についたものとしては、パソコンが首位であり、受講者のほとんどが、志望動機としてパソコンをあげていることから、一定の成果があったものと考えられる。

パソコンに続いて、自信や勇気、自己分析などがあがっている。このことは、再就職や日頃の活動における、自身がつ不安を想像させる。模擬面接や接遇訓練、自己分析など、この講座の授業を通して、一定の不安解消につながったことが見て取れる。このことは、講座修了後も再チャレンジの持続に向けて、不安解消への正のスパイラルを形成するよう、修了生のネットワークを構築し活用することが考えられる。

講座の1つの目的が、子育て等が一段落した主婦層に対して再チャレンジに必要な基礎的事項を学ぶことにあった。そのため、パソコン技術の学習もワード、エクセルの基礎部分に限って行われた。そのため、「あると良いと思った講座」の問いに、中級のパソコン講座を望む声が多くあった。このことは、予想していたことであり、このような講座を希望する方々に、いかにして系統的に段階を追って実務レベルまでパソコンを学ぶ、学びの場を提供するか、課題であることが再認識された。

講座の期間としては、ほとんどが「ちょうどよかった」と答えているが、パソコン技術習得に時間を要するみなさんには短かったと映っているようだ。

本講座全体の満足度を、最初の期待で押し量ると、「最初の期待どおり」と答えている修了生は第3期、第4期講座とも70%を越えている。このことから、受講生にとってこの講座は満足であったものと推測することができる。

11. 今後の課題

一般職をめざす女性の再チャレンジ支援講座として、平成20年度は講座を3回実施してきた。講義ごとに実施してきたアンケートや修了時に行っているアンケートの結果を見ると、受講者の感想はおおむね良好であった。しかし、そのなかであげられた「講義で習得したパソコン技能では、就職にどこまで役立つか不安である」という意見は今後の課題として採り上げることができる。

受講者の年齢層に広い広がりを持つことから、受講生のパソコン技能水準には大きな幅がある。このプロジェクトを企画する段階で取り上げた、44～45歳をモデルとする講義の枠組みでは、パソコンの取り扱いに関しては初歩的な域を出ないという、前提で計画する必要があった。そのため、どうしても、ワードやエクセルの基礎技術（入門編）に重きを置かざるをえなかった。このプログラムで対象としたパソコン技術を上回る、中上級レベルへの対応については、今後の課題としたい。

修了者の再チャレンジに対する考え方に、大きな多様性を見ることができた。本講座を希望する人は、再チャレンジの意志の強い人であるという、前提でプロジェクトを企画していたが、主婦の場合、子供や家族にどう対応するか、あるいは、税制面から、扶養家族でいながら再チャレンジをしたい等、修了後の取り組みは一様ではなく、修了後すぐに再チャレンジに踏み出すことができない修了者も見られた。また、講座修了時期が、3月、7月、12月と、主婦にとって多忙な時期と重なっており、すぐに再チャレンジに踏み出せない者も多く、本人の都合ではなく、親の介護が必要になったり、PTAの役員が当たったりとすぐに活動ができない修了者も散見された。しかしながら、そのような修了者であっても講座を受講し、修了できたことには大きな意義を認めており、時期を見て活動したいと考えている修了者がほとんどである。そのことは、この講座が一定の成果をあたえるものであったことを示すと同時に、再チャレンジの実現には時間を要すること、そのため修了後に修了者とのネットワークを形成し、個別サポートを行って行く等、今後の方向性を見ることができた。

平成20年度に修了した受講者の多くが、修了生同士の横のつながりを求めていることが認められた。そのことは、受講生代表の答辞、修了式後、自発的な企画による有志昼食会開催などを通して伺い知ることができる。このことは、今後授業の中で受講者同士の連携を深めるような工夫を行うべきことを示唆していた。

本講座の運営、推進は、運営委員会における議論、諮問によって進められている。運営委員会は、学内委員5名、学外委員10名から構成されている。半数以上の委員が、学外委員で構成されており、学外者の意見が反映されているとすることができる。そのため、本講座の外部評価は運営委員会での外部委員の意見により、受けることができていると考えてきたが、今後はより一層の客観的な評価を得るために、評価に関する詳細な評価項目を設定し、項目毎に評価を受け、改善を図る必要がある。次年度は、運営委員会の他に評価委員会を開催し、より充実した評価を受けたいと考えている。

12. 参考資料

第4期再チャレンジ支援講座募集要項

1	受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職意志のある社会人で、定職についてない女性 ● 一度家庭に入ったが、もう一度働きたいと考えている女性 ● 経済的な理由で再就職を考えているが、必要な技能を身につけたい女性
2	講義期間	平成21年1月14日（水）～平成21年3月23日（月） 講義：期間中の月曜日・水曜日の10：30～14：30（1コマ90分） 昼休憩：12：00～13：00
3	実施場所	神戸女子大学教育センター 〒650-0004 神戸市中央区中山手通2丁目23-1 TEL：078-231-1001 Fax：078-231-1002
4	申込期間	平成20年12月1日（月）～平成20年12月18日（木）必着
5	募集定員	40名
6	応募方法	所定の申込書に記入の上、「再チャレンジ支援講座」事務局に提出 （郵送または直接持参可）
7	受講決定日	平成20年12月25日（木）（受講決定者には文書にて通知いたします）
8	受講料	7,000円（テキスト代・パソコン使用料金等全ての費用を含みます）
9	修了証交付	一定の条件を満たして修了された方は修了証を交付します。

応募者多数の場合は、再チャレンジ支援講座申込書の「応募理由」等を参考に、事務局で選考させていただきます。受講料は受講決定後に納付していただきます。納付された受講料は、原則として払い戻しできません。経済的に納付が困難な方は受講料を免除することもできますので、事務局までお申し出下さい。

講座の申込先・問い合わせ先

神戸女子大学教育センター（講座開設場所と同じ）

「再チャレンジ支援講座」事務局

E-mail：manabi@yg.kobe-wu.ac.jp

第4期再チャレンジ支援講座カリキュラムと講師

第4期再チャレンジ支援講座のカリキュラムと講師

日	曜日	1期日 (10:30~12:00)	担当	2期日 (13:00~14:30)	担当
1月14日	水	開講式 (11:00~)		キャリアデザインの重要性と 企業のための求人術	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男
1月19日	月	パソコン 1	情報技術学院	自己分析 I	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男
1月21日	水	パソコン 2	情報技術学院	自己分析 II	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男
1月26日	月	女性の知っておきたい情報知識 I	社会保険労務士 宮田 ミチ子	パソコン 3	情報技術学院
1月28日	水	女性の知っておきたい情報知識 II	社会保険労務士 宮田 ミチ子	パソコン 4	情報技術学院
2月2日	月	女性の知っておきたい情報知識 III	社会保険労務士 宮田 ミチ子	パソコン 5	情報技術学院
2月4日	水	履歴書の書き方 I	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男	パソコン 6	情報技術学院
2月9日	月	履歴書の書き方 II	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男	パソコン 7	情報技術学院
2月16日	月	パソコン 8	情報技術学院	パソコン 9	情報技術学院
2月18日	水	パソコン 10	情報技術学院	ビジネスマナー I	神戸女子短期大学教授 中川 裕子
2月23日	月	パソコン 11	情報技術学院	就職書類の活用術	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男
2月25日	水	パソコン 12	情報技術学院	ビジネスマナー II	神戸女子短期大学教授 中川 裕子
3月2日	月	発達訓練 I	キャリアアドバイザー 田中 啓子	発達訓練 II	キャリアアドバイザー 田中 啓子
3月4日	水	履歴書書 I	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男 他6名	履歴書書 I	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男 他6名
3月9日	月	履歴書書 II	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男 他6名	履歴書書 II	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男 他6名
3月11日	水	パソコン 13	情報技術学院	パソコン 14	情報技術学院
3月16日	月	履歴書書 III	キャリアアドバイザー 亀沼中 吉男 他6名	パソコン 15	情報技術学院
3月23日	月	終了式 (11:00~)			

(カリキュラム・講師は変更になることがあります)

※ 1月14日(水)の開講式は11:00開始を予定しております。
 ※ 3月23日(月)の終了式は11:00開始を予定しております。
 ※ パソコンは、Excel・Word 初級講座です。
 ※ 詳しい講座内容は「再チャレンジ支援講座」ホームページに掲載しております。
<http://www.yz.kobe-wu.ac.jp/manabi/index.html>

受講者募集

受講者募集パンフレット配布先ならびに配布部数

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
第1期修了生	36	108	108
第2期修了生	－	120	120
第3期修了生	－	－	114
前回応募者	91	141	55
生きがいしごとサポートセンター	1,110	100	1,000
男女共同参画センター	130	130	130
神戸市母子福祉センター	－	20	20
兵庫区福祉事務所	－	20	20
ハローワーク関連	70	70	70
講座関係機関	20	20	20
運営委員ならびに講師	130	130	130
図書館区役所等	－	150	160
問い合わせ	138	63	48
合 計	1,725	1,072	1,995

受講者応募状況

応募者の応募状況

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
主 婦	126	71	45
母 子 家 庭	16	6	5
フ リ ー タ ー 等	38	17	17
不 明	2	0	0
応 募 者 総 数	182	94	67

注) 第3期講座募者の中には前回応募した方が41名、本学卒業生が5名含まれていた。また、第4期講座においては、前回応募は15名、本学卒業生は2名含んでいた。

応募者の年齢構成

年 齢	第2期講座	第3期講座	第4期講座
20代	12	7	5
30代	59	32	29
40代	86	38	23
50代	24	15	9
60代	1	2	1

受講者の内訳

	第2期講座	第3期講座	第4期講座
主婦	25	27	23
母子家庭	9	6	5
フリーター等	6	7	12
受講者総計	40	40	40

注) 第3期講座においては、19名の前回応募者、3名の本学卒業生、第4期講座においては8名の前回応募者、2名の本学卒業生が含まれる。なお、第3期講座においては開講式当日に1名辞退者が出た。受講料の免除を行った者は第2期講座2名、第4期講座1名であった。

受講者の年齢構成

年 齢	第2期講座	第3期講座	第4期講座
20代	3	4	5
30代	16	11	21
40代	21	21	12
50代	0	3	2
受講者数	40	39	40

注) 第3期講座においは主婦1名、第4期講座においては主婦1名ならびにフリーター等2名が修了することができなかった。そのため、修了した人数は、第2期講座40名、第3期講座38名、第4期講座37名であった。

再チャレンジ支援講座運営委員会メンバー

	氏 名	所 属 等
運営委員長	浅木森 和 夫	神戸女子短期大学教授
運 営 委 員	中 尾 友 則	神戸女子大学教授
運 営 委 員	中 川 伸 子	神戸女子短期大学教授
運 営 委 員	足 立 勝 己	神戸女子大学キャリアサポートセンター課長
運 営 委 員	津 山 充 代	神戸女子短期大学キャリアサポートセンター課長
運 営 委 員	因 幡 憲 二	神戸市男女共同参画センター館長
運 営 委 員	小 倉 傑	西宮市男女共同参画センター所長
運 営 委 員	野々垣奈々子	芦屋市男女共同参画センター
運 営 委 員	村 上 義 弘	生きがいしごとサポートセンター神戸東センター長
運 営 委 員	小 倉 譲	生きがいしごとサポートセンター神戸西センター長
運 営 委 員	宮 田 ミチヨ	社会保険労務士、キャリアアドバイザー
運 営 委 員	田 中 啓 子	キャリアアドバイザー
運 営 委 員	広 野 史 子	キャリアアドバイザー
運 営 委 員	岡 本 瞬 索	富士コンピューター販売(株)専務取締役
運 営 委 員	継 本 智 月	マナースクールコム・ル・シエル代表
事 務 局	亀治中 吉 男	法人本部総務部事業課課長、キャリアアドバイザー

再チャレンジ支援講座運営委員会要綱

(目 的)

第1条 神戸女子大学と神戸女子短期大学が、平成19年度文部科学省の委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された「フリーター・ニート・主婦のための再チャレンジ支援講座」（以下「講座」という。）を円滑に運営するために、再チャレンジ支援講座運営委員会（以下「委員会」という。）を設置し、当該委員会の運営について定める。

(構 成)

第2条 委員会は、講座の申請者である委員長と委員長が任命する委員をもって構成するものとする。

(審議事項)

第3条 委員会の審議事項は次に定める事項とする。

- (ア) 講座の運営方法の承認
- (イ) 講座の運営状況に対する提言
- (ウ) 履修修了者の再チャレンジ支援策の検討

- (エ) 講座の改廃
- (オ) その他委員会の運営に必要な事項

(運 営)

第4条 委員会は、委員長又は委員長が指名する者が議長として議事を進行するものとする。

1. 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立するものとする。
2. 委員会は、出席者の過半数の賛成をもって議決するものとし、賛否同数の場合は議長が判断するものとする。

(任 期)

第5条 委員の任期は、平成22年3月末日までとする。ただし、委員長が解散を決定したときは、解散日の前日までとする。

(委員の辞任)

第6条 委員は、委員長の承認を得て辞任することができるものとする。

(事務局)

第7条 講座及び委員会の運営事務は、総務部事業課が取り扱うものとする。

附 則

第1条 本要綱は、平成19年10月24日より実施する。

【平成20年度再チャレンジ支援講座運営委員会会議記録】

◆第6回運営委員会（平成20年5月7日）

- ◆ 新運営委員紹介
- ◆ 第2期再チャレンジ支援講座の募集状況
 - ・ 応募者の状況
 - ・ 受講者の決定
- ◆ 第1期再チャレンジ講座受講者アンケート結果について
- ◆ 第2期再チャレンジ講座での変更点について
- ◆ 平成19年度「成果報告書」準備状況について

◆ 第7回運営委員会（平成20年6月18日）

- ◆ 第2期再チャレンジ支援講座の受講者の受講状況について
- ◆ 平成19年年度成果報告書及び実施報告書
- ◆ 運営委員会委員長の交代について
 - ・運営委員会委員長が中尾友則神戸女子大学教授から浅木森和夫神戸女子短期大学教授へ変更になる。
- ◆ その他
 - ・母子家庭支援制度
 - ・運営委員会運営要綱の一部（第2条）を変更

◆ 第8回運営委員会（平成20年7月30日）

- ◆ 第2期再チャレンジ支援講座の受講者の修了について
 - ・受講生全員が修了基準を満たし修了証が授与される
- ◆ 第2期再チャレンジ支援講座アンケート結果
- ◆ 第3期再チャレンジ支援講座募集要項（案）について検討
- ◆ 第3期再チャレンジ支援講座講義内容（案）について検討
- ◆ その他
 - ・第3期の募集方法について
 - ・第2期講座についての反省事項
 - ・第1期講座修了生の活動状況

◆ 第9回運営委員会（平成20年10月1日）

- ◆ 第3期再チャレンジ支援講座申込について
- ◆ 第3期再チャレンジ支援講座受講者決定について
- ◆ その他
 - ・第3期学習スケジュールについて
 - ・模擬面接担当者の変更・追加について
 - ・第4期スケジュールについて

◆ 第10回運営委員会（平成20年11月5日）

- ◆ 第4期再チャレンジ支援講座募集要項とスケジュール
- ◆ 第1期、第2期再チャレンジ支援講座修了生生活動状況について

- ◆ その他
 - 第4期再チャレンジ支援講座に向けての改善点
 - 平成20年度「成果報告書」への協力要請

◆ 第11回運営委員会（平成21年1月28日）

- ◆ 第4期再チャレンジ支援講座の応募者、受講者の状況について
- ◆ 平成21年度再チャレンジ支援講座実施に向けて
 - プログラムの変更、修正について
- ◆ 平成20年度成果報告書の報告内容について
- ◆ その他
 - 第3期修了生状況の報告
 - 第3期修了生講座アンケート結果報告
 - 第5期講座スケジュールならびに内容について

◆ 第12回運営委員会（平成21年3月11日）

- ◆ 平成21年度再チャレンジ支援講座実施計画書（文部科学省提出）について
 - 第7期は修了者を対象に中上級講座とする
 - シンポジウムを開催
 - 評価委員会を3回予定する
- ◆ 第5期再チャレンジ支援講座講義スケジュールについて
- ◆ その他
 - 文部科学省、昭和女子大学、広島修道大学視察報告
 - 平成20年度成果報告書構成について
 - 神戸新聞記事掲載（3月28日土曜日の朝刊7段、内1段は募集広告）の記事について

第2期再チャレンジ支援講座修了生代表挨拶（美甘 亜貴）

本格的な夏の訪れを間もなく迎える頃、本日、私たち再チャレンジ支援講座2期生は40名全員がかけることなく、無事、修了式を迎えることになりました。

昨年、文部科学省がスタートさせたこの“社会人学び直しプログラム”の一環である本講座は神戸女子大学の企画と地域団体の協力と賛同で実現化されたもので、フリーターや主婦の私たちが再就職するのに必要な知識と技術の習得をすることを目的とし、「パソコン」「自己分析」「履歴書の書き方」「ビジネスマナー」「模擬面接」など非常に充実した内容の講義が行われました。

5月19日、期待と不安な気持ちで迎えた開講式で、“あなたがたは再チャレンジしたいという多くの応募者の中から選ばれた人です。自信を持ってください。そして、理想を実現化させましょう。”とのお言葉をいただき、緊張と不安な気持は、毎回の講義を終了する度にやる気と自信に変わっていきました。特に、ブランクのある私たちが再チャレンジに立ち向かうには、「パソコンの技術習得」については必修でした。

それぞれの名称や言葉の意味など丁寧に一から教わったことで、授業は戸惑いながらも学ぶことを楽しむ好奇心で満ち溢れた雰囲気の中で、しっかりと学ぶことができ、授業以外でもパソコン教室を開放していただけましたので、独自で練習することもありました。

また、「自己分析」においては、「自分を振り返る」ことで、自分を見直す、良さを発見することができ、大変な作業ではありましたが、これは就職とは別の場面にも役に立つことと思いました。「労務知識」では、「知る」「知っている」ことの大切さと、世の中の変容の中で弱者を救うための制度や法律が次々に改正されていることを学びました。

そして、「ビジネスマナー」「接遇訓練」は、再び社会に出ていく上で、限られた人間関係の中でのコミュニケーションだけでは気付かないことであらためてその必要性和大切さに気付かされました。また、シュミレーションを立ててのロールプレイでは、お互いの目を見合って照れ笑いをする場面がありましたが、コミュニケーションをキーワードにしたこの講義でアイコンタクトや笑顔がどれだけ場を和ませるものかということも同時に気付かされました。

あっという間の2か月でした。どの講義も大変有り難い、すぐに役に立つものばかりです。2008年も半年を過ぎました。原油高、株安のニュースに、自然災害、環境問題、食糧問題と大事件が世界中を駆け巡りました。私たちを取り巻く現実には波乱万丈といったところでしょうか。しかし、理想を実現化させる為の準備は、調いました。

“鉄は熱いうちに打て”この講座を修了したことをベースに私たちそれぞれが描くキャリアデザインを具現化していくためにもこの2ヶ月間で学んだことをもって、再チャレンジ活動をしていきたいと思えます。きっと叶えていけるものと信じます。そして、不安になった時には、5月19日の開講式で頂いたお言葉を思い出し、途中で諦めることなく、自分の理想を実現化していく

のだという気持ちを忘れず、勇往邁進していけるように心がけたいと思います。

私達40名は、本講座を通して、社会人女性として、再チャレンジを志す同志であることを確認しました。このつながりを大切に、これから励まし合っていきたいと思います。

最後になりましたが、本講座の実施にあたって、神戸女子大学・神戸女子短期大学のプロジェクトに携わっていただいた皆様、ご協力下さった地域団体の皆さま、熱心に丁寧にご講義、ご指導をしてくださった講師の方々、キャリアアドバイザーの皆さまには、心より感謝しております。誠にありがとうございました。

御校並びに「再チャレンジ支援講座」の益々のご発展をお祈りし、受講生を代表し、感謝の言葉とさせていただきます。

■ 第4期再チャレンジ支援講座修了生代表挨拶（稲林 愛）

ちらほらと桜便りが聞かれる今日この頃ですが、本日、私たち37名、再チャレンジ支援講座4期生は修了式を迎えることになりました。

私は、ドイツで音楽の仕事をしていましたが、健康上の問題のため昨年日本に帰国してきました。普通の事務の仕事の経験もスキルもなく、これからの自分の人生をどのようにしていくのか、またどうやって就職先を探そうかと悩んでいたとき、当講座に出会いました。

最初の授業は、就職するために今までの自分の人生を振り返り、自分の長所や適性を見つけるという「自己分析」でした。このように自分のことをじっくり紙に書いて見つめ直すことを私は今までしたことがなく、就職の為だけではなく、これからの人生を考える上で、とても良い経験になったと思っています。そこで見つけた自分を企業の求人像に照らし履歴書や職務経歴書にあらし、その自分を面接官にしっかりとPRする模擬面接までの一連の「キャリア教育」、「女性の知っておきたい労務知識」、「ビジネスマナー」、「接遇訓練」は、長く日本を離れていた私にとって、日本社会に再びとけこみ仕事をしていく上でとても意義のある講義でした。さらに15回にも及ぶワード・エクセルのパソコンの実技と、2ヶ月間という期間が短く感じられるとても内容の濃い講座でした。

本日ここに私たち、4期生が巣立ってまいります。本講座を受講させて頂けたことに深く感謝しております。主婦・母子家庭・定職を持っていなかった女性と異なる環境を持った私たちですが、再チャレンジしようという目標は同じで、百年に一度の不況といわれている状況下ではありますが、ここで学ばせていただいた知識、技術をこれからの私たちの人生に役立てていきたいです。そして、ともに学んだ経験を共有する仲間として、今後も励ましあい、助け合っていければと考えております。

最後になりましたが、熱心にご講義、ご指導していただいた講師の方々、手厚い配慮をしていただきました事務局の方々に改めて御礼を申し上げますとともに、御校並びに「再チャレンジ支援講座」のますますのご発展をお祈りし、第4期生を代表して感謝の言葉とさせていただきます。

開講式・修了式写真



第4期 開講式学長挨拶



第4期 開講式の様子



第3期 修了式学長挨拶



第3期 修了証書授与



第3期 修了生答辞

学習風景



第4期 労務知識



第4期 ビジネスマナー



第4期 接客訓練



第4期 接客訓練



第2期 模擬面接



第4期 模擬面接



第4期 パソコン講座

(第3種郵便物認可)

新 戸 新 戸 申 申

2009年(平成21年)3月28日 土曜日

前向きな女性を応援



「再チャレンジ講座」の講師として活躍する三浦あゆみさん(左)、藤田美穂さん(中)、三浦あゆみさん(右)。神戸女子大学事務局より提供

「踏み出す力を得た」

「再チャレンジ講座」を開催して、三浦あゆみさん(左)、藤田美穂さん(中)、三浦あゆみさん(右)の3人が、それぞれ異なる分野で活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。

「再チャレンジ講座」を開催して、三浦あゆみさん(左)、藤田美穂さん(中)、三浦あゆみさん(右)の3人が、それぞれ異なる分野で活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。

丁寧なパソコン指導 自己分析徹底で自信

神戸女子大学・神戸女子短期大学(学芸法人行杏学園)が主催している「再チャレンジ講座」が、人気を集めている。これからは、結婚や子育てなどで一度キャリアを中断した人々、新しく就職先を志す人々、新しく就職先がある女性を対象に、就職活動をサポートする講座、同大学では「100年に一度」といわれる大規模のこの時期だからこそ、前向きに取り組む女性を応援したい」と話す。講座の内容や、実際に受講した学生たちの感想などを紹介した。



パソコンの操作の指導を受ける学生たち。神戸女子大学事務局提供

神戸女子大・短大

ニーズに応じ実務重視

「再チャレンジ講座」の講師として活躍する三浦あゆみさん(左)、藤田美穂さん(中)、三浦あゆみさん(右)の3人が、それぞれ異なる分野で活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。三浦あゆみさんは、起業家の道を歩み、藤田美穂さんは、フリーランスのライターとして活躍を始めた。



神戸女子大学学長 三浦あゆみ

学芸法人行杏学園 神戸女子大学
ROSE WOMEN'S UNIVERSITY 神戸女子短期大学

〒650-8302 神戸市東灘区東灘5-1-1 TEL.078-2251100

神戸女子大学
新館センター
〒650-8302

講座名	開催日時	開催場所	受講料	申込期間	申込方法	お問い合わせ先
再チャレンジ講座	2009年3月28日(土)	神戸女子大学 新館センター	無料	2009年3月15日～27日	神戸女子大学事務局	078-2251100

「再チャレンジ講座」
受講生募集

女性のフイーター...
主婦層のために再チャレンジを支援

11月21日リビング掲載

神戸女子大学・神戸女子短期大学

☎078(231)1001



神戸女子大学・短期大学では、文部科学省委託事業である、社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「第4回再チャレンジ支援講座」を、来年1月に開講。12月1日(月)～18日(木)の期間で、受講生を募集します。

就職意欲のある社会人で、定職に就いていない女性や、家庭に入ったけれど、もう一度働きたいと考えている女性、あるいは、経済的な理由などで再就職に必要な技能習得を目指す女性を、対象としています。

開講日程は、1月14日(水)～3月23日(月)の月曜と水曜の、午前10時30分～午後2時30分。講義数は、全33コマ49.5時間(1コマ90分、正午～午後1時に昼休憩あり)。ビジネスマナーや労務知識の解説、パソコン実技など、スキルアップに向けて、10項目の講義が受けられます。

会場は、同大学教育センター(神戸市中央区中山手通2ノ23ノ1・各線三宮駅歩10分)。受講料はテキスト代込みで7000円。定員は40人です。申込書・パンフレット請求は、☎078(231)1001、またはEメールmanabi@yg.kobe-wu.ac.jpで、同大学再チャレンジ支援講座事務局へ。

就職を目指す女性の技能習得をサポート
再チャレンジ支援講座 1月14日～3月23日 受講生募集

|| おわりに

平成20年度の事業取り組みを振り返りながら、その足跡を報告書にまとめてみたが、1年間で短く感じられる。

平成20年度は、3回の講座、定員120名（1回40名）の開催に対して、343名の応募を受付け、119名の受講者の中から、115名に修了証を発行することができた。そのことは、大学教育のノウハウを社会人の再チャレンジに生かすという趣旨において、いくばくかの貢献ができたもの信じている。

定員を上回る応募に対し、受講者の決定には苦慮を強いられた。講座申込書の「応募理由」を精査し、子育ての一段落した主婦、母子家庭者、フリーター等の若者という、本事業において設定した募集対象者を優先した。そのため、複数回の応募にも答えられないことがあった。

本プロジェクトは、地域の諸団体、個人の方々の手厚い支援を受けて発足し、運営されてきた。平成20年度の実績は、それらの方々との協力体制がさらに充実・強化されたことによるところが大きかった。

講座の運営は、大きな問題もなく進めることができた。しかし、修了者の修了後の活動においては、大きな個人差が見られた。特に、主婦の再チャレンジは、子供や両親等の世話をしなければならないという環境とのトレードオフで、時期を見て再チャレンジをしたいという方が散見された。このことは、受講者の多数を占める主婦層の再チャレンジにおいては、長いスパンでの支援が必要であることを示唆しているといえよう。

本講座の今後の運営においては、講義等だけに終わらず、修了者のフォローが必要であることも認識させられた。次年度は、本年度の成果を活かし、再チャレンジの成果があがるよう、大学と修了者、修了者同士の横のつながり等をより密接にし、100年来の世界不況といわれるこの時期に、再チャレンジに挑み続ける修了者を支援して行きたい。

最後に、この事業にご支援、ご協力をいただきました諸団体、諸機関のみなさま、ならびに、事業運営へのご理解をいただきました本学園教職員みなさまに、一言お礼を申し上げます。

再チャレンジ支援講座事務局

平成20年度 文部科学省委託事業

「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

フリーター・ニート・主婦のための
再チャレンジ支援講座
報告書

発行日 平成21年3月31日

編者 神戸女子大学「再チャレンジ支援講座」事務局

連絡先 兵庫県神戸市中央区中山手通2丁目23-1

神戸女子大学教育センター

電話番号 078-231-1001

印刷所 交友印刷株式会社